

[Web 版大規模科学計算システムニュースより]

大規模科学計算システムニュースに掲載された記事の一部を転載しています。 <http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/tayori/>

利用負担金（1月～3月分）の請求について (No. 181)

大規模科学計算システムの平成27年1月～3月分の利用負担金の請求を次のように行います（昨年と同じです）。

《学内支払責任者》

1月から2月10日までの利用負担金を2月下旬に請求します。その後3月末までの利用負担金は、翌年度4月に請求します（平成27年度の大学運営資金で予算の調整を行います）。

なお、事前に費目の指定は必要ありません。請求金額確定後、センター会計係より各部署の会計担当を通して照会いたします。

《学外支払責任者》

1月から2月10日までの実績額と3月末までの利用見込額を合算した利用負担金を2月下旬に請求します。利用見込額は以下の mikomi コマンドで2月9日(月)までに申告してください。なお、見込額と実績が異なっても精算は行わないのでご注意ください。

また、支払費目名の入った利用負担金請求書を希望する場合や、請求書の適要欄等について不明な点がある場合は、事前に会計係（022-795-3405）へご連絡くださるようお願いいたします。

【 mikomi コマンドの使用例 】

ssh front.isc.tohoku.ac.jp -l 利用者番号

*並列コンピュータにログイン

利用者番号@front.isc.tohoku.ac.jp's password: パスワード して下線部を入力します。
gen% **mikomi**

2月5日 現在の見込み額は次のとおりです。

支払責任者 : ○○ ○○ (u23456)

見込み額指定者 :

見込み額 : 0円

1. 見込み額の指定 2. 削除 9. 終了

何番の処理を選びますか? 1

見込み額を入力してください(円)? 200000

登録してよろしいですか (yes/no) ? yes

.....

gen%

負担金全般に関することで不明な点がある場合は、共同利用支援係（022-795-6251）へご連絡くださるようお願いいたします。

(共同利用支援係, 会計係)

利用負担金額の表示コマンドについて (No. 181)

本センター大規模科学計算システムでは、利用者の利用額と支払責任者ごとの利用額・負担額を表示するためのコマンドとして kakin, skakin があります。これらのコマンドは、並列コンピュータ (front.isc.tohoku.ac.jp) にログインして使用します。

コマンド名	機 能
kakin	利用者ごとの利用額を各システム、月ごとに表示
skakin	支払責任者ごとに集計した利用額と負担額を表示 (負担額は割引制度に基づいた金額)

いずれも、前日までご利用いただいた金額を表示します。コマンド使用例は大規模科学計算システムウェブページをご覧ください。

負担金の確認

<http://www.ss.cc.tohoku.ac.jp/utilize/academic.html#負担金の確認>

(共同利用支援係)

研究成果リスト提出のお願い (No. 181)

平素、本センターの大規模科学計算システムをご利用いただきありがとうございます。

本センターでは、学術研究を支える世界最高水準の大規模科学計算システムの導入と利用環境の整備・拡充を行い、研究の発展に資することを心掛けてまいりました。今後もシステムの整備を進めていくには、大規模科学計算システムが多くの研究分野で必要不可欠であり、かつ研究成果が得られていることを広くアピールしていく必要があります。

つきましては、本センター大規模科学計算システムを利用して得られた研究成果を、下記により提出くださるようお願い申し上げます。なお、提出していただく研究成果は、平成 26 年度中に発表されたものとしします。

記

1. 研究成果リスト：著者名、論文名、掲載誌（巻号頁）、発表年
2. 提出方法：電子メールでお願いします。
提出先メールアドレス seika@cc.tohoku.ac.jp
3. 締切り日：平成 27 年 4 月 17 日（金）
4. 問合せ先：共同利用支援係（022-795-6251, uketuke@cc.tohoku.ac.jp）

<< 論文等への利用の明記について >>

研究成果を論文等で発表する場合には、本センターを利用した旨を明記くださるようお願いいたします。

— 記入例 —

「本研究の実験結果の一部は、東北大学サイバーサイエンスセンター大規模科学計算システムを利用して得られた。」

Part of the experimental results in this research were obtained using supercomputing resources at Cyberscience Center, Tohoku University.

(共同利用支援係)